

日台間の実務交流の台湾側窓口機関を代表して日本に駐在している台北駐日経済文化代表処の馮寄台代表

九総統は2008年5月に就任して以来、対中関係を積極的に改善してきた。台湾海峡の火薬庫から戦争の危機を取り除き、対話の方

中国大陸住民の台湾観光解禁、輸出額の40%以上を中国大陸向け(香港を含む)が占めている。対外直接投資先でも中国大陸が最も多い。馬政権は経済・貿易関係がますます緊密化する中

台湾は過去数十年にわたり、中国当局の圧力を受け、国際社会においても排斥されてきた。重要な経済・貿易パートナーとの自由貿易協定(FTA)も、政治的な要因で交渉ができなかつた。馬政権は過去2年間、向へと歩み出したのである

# 台・日・中、協力で利益享受

台北駐日経済文化代表処代表

馮寄台氏 寄稿



馮寄台氏(ひょう・きたい) 73年米ノースカロライナ州立大(国際関係学)修士、74年外交部(外務省)へ。87年米ハーバード大(公共行政学)修士。03年駐ドミニカ共和国大使などを歴、08年9月から現職。台湾・高雄出身。63歳。

## 台湾は中国開拓への飛躍台 日本企業、積極進出を

した経済協力枠組み協定(ECFA)の締結交渉に上る。中国の十大輸出企業のうち台湾系が6社を占める。台湾のビジネスマンは、互いに好感を抱いており、経済、文化、教育、観光等の分野で極めて緊密な交流がある。台湾と中国大陸がECFA締結を契機に協力関係を強化したとしても、台日は互いに大きな利益を生み出すことができる。例えば、日本企業が中国進出のため台湾を活動の飛躍台として台湾を活用して成功モデルを中国へ移植している。

今年1月に中国と東南アジア諸国連合(ASEAN)が正式に発効するFTAが正式に発効することを、日本がアジア域内で調印されたFTAは50を超えている。日本と台湾の企業が協力して中国市場に参入するも、台日は互いに大きな利益を生み出すことができる。例えば、日本企業が中国進出のため台湾を活動の飛躍台として台湾を活用して成功モデルを中国へ移植している。

現在、台湾のビジネスマンの特性を分析し、人材育成と経営実績のノウハウを踏まえ、中国大陸に進出した台湾企業は1000万人以上に携わる台湾の優秀な人材を活用して成功モデルを中国へ移植している。